

提出順	14	発言順	14	令和 2 年 11 月 25 日
				午前・午後 11 時 49 分受領

(2 枚中No./)

令和 2 年 11 月 25 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 山本 純子 印

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 2 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	安曇野市学校給食理念（目標）の達成状況と課題について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

安曇野市教育委員会は平成20年に、合併後の安曇野市の学校給食として、共通の運営方針や目標などを具体的に示した「安曇野市学校給食理念（目標）」を制定した。①安心・安全で美味しい給食づくり ②食育の推進 ③地産地消の推進 ④地元食材（県内産）の使用率の向上 ⑤手作り給食の実施 ⑥季節感がある地域の伝統食の提供 ⑦栄養バランスの取れた給食の提供 以上の7項目がそれである。

制定から12年、学校給食理念に掲げた目標について、以下に質問する。

- 1、 7項目の理念・目標について、達成状況について
- 2、 今後に活かすべき成果や、改善すべき課題について
- 3、 安心・安全で美味しい給食づくりは最重要課題であるが、現在の学校給食の理念では、その内容として「近代的な施設で、衛生管理の徹底を図る」ということに止まっている。見直しが必要ではないか。

提出順	14	発言順	14	令和 2 年 11 月 25 日 午前・午後 11 時 49 分受領
-----	----	-----	----	---------------------------------------

(2 枚中No. 2)

令和 2 年 11 月 25 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

小林 純子 印

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 2 年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	新型コロナ後の未来 安曇野の農業が目指すべき姿について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

新型コロナ感染症に翻弄された 2020 年、これは一過性のことで終わるものではなく、このコロナ以後の世界で私たちが目指すべき社会の姿が問われていると見るべきである。

農業こそが新型コロナ後の世界を救うものだと、欧米では新型コロナを契機として、食農システムや大規模流通が見直され、有機農産物を通じた産地と消費者のより近い関係性 (地産地消) が注目されている。また世界的にも、国連で採択された「小農の権利宣言」によって、国持続可能な食農システムの担い手として小農や家族農業が再評価されている。

そこで、以下に質問する。

- 1、 安曇野市の農政において、新型コロナを契機とした政策転換の検討について
- 2、 環境保全型農業のさらなる推進について
- 3、 小農や家族農業の再評価と有機農業について